野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型

追加型投信/国内/株式

交付運用報告書

第149期(決算日2024年12月23日) 第152期(決算日2025年3月24日) 第150期(決算日2025年1月22日) 第153期(決算日2025年4月22日) 第151期(決算日2025年2月25日) 第154期(決算日2025年5月22日)

作成対象期間(2024年11月23日~2025年5月22日)

		第15	54期末	₹ (202	25年5月22日)	
基	準		価	額	19,634円	
純	資	資 産 総 額 4,860百万				
			第14	9期~	~第154期	
騰		落		率	0.3%	
分面	2金(税込	ふ) (信台	240円	

- (注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- ○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- ○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法> 右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」「Cファンド名を入力しファンドを選択 ⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し 上げます。

当ファンドは、ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の高配当利回り株式に実質的に投資を行ない、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

ここに、当作成対象期間の運用状況等について ご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、 お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 (受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

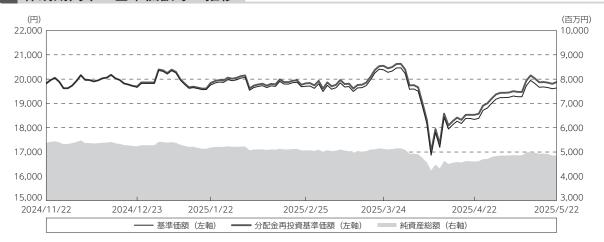
●ホームページ

https://www.nomura-am.co.jp/

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年11月23日~2025年5月22日)



第149期首:19,823円

第154期末:19,634円(既払分配金(税込み):240円)

騰 落 率: 0.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。 作成期首 (2024年11月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- ・実質的に投資している日本の高配当利回り株式(以下、「高配当株」といいます。)からのキャピタルゲイン(またはロス)(価格変動損益)
- ・実質的に投資している日本の高配当株からのインカムゲイン
- ・実質的に保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」による、オプション価値の上昇(または下落)**
 - ※ファンドはコール・オプションの売却を行ないますので、オプションの価値が上昇すれば基準価額の下落要因となり、オプションの価値が下落すればプレミアム収入を上限として基準価額の上昇要因となります。

1万口当たりの費用明細

(2024年11月23日~2025年5月22日)

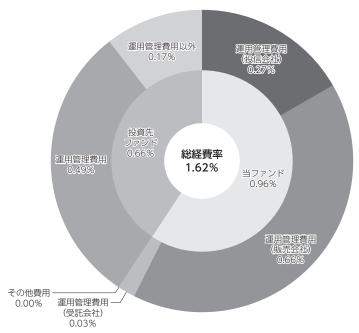
項	Ħ	第149	第149期~第154期 項 項		4期	項目の概要
	H	金	額	比	率	り は の 気 安
			円		%	
(a) 信託報酬		9!	5	0.4	80	(a) 信託報酬=作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社	_)	(27	7)	(0.1	36)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準 価額の算出等
(販売会社		(65	5)	(0.3	27)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理 および事務手続き等
(受託会社		(3	3)	(0.0	16)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費/		()	0.0	02	(b) その他費用=作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権□数
(監査費用	3)	((0)	(0.0	02)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合	計	9	5	0.4	82	
作成期間の	平均基準価額	は、19,8	72F	円です	0	

- (注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.62%です。



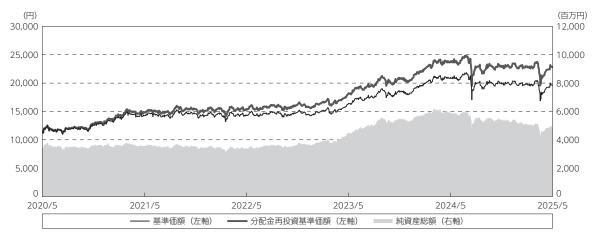
(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.62
①当ファンドの費用の比率	0.96
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等(マザーファンドを除く。)です。
- (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
- (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
- (注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月22日~2025年5月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。 2020年5月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、 個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年5月22日 決算日	2021年5月24日 決算日	2022年5月23日 決算日	2023年5月22日 決算日	2024年5月22日 決算日	2025年5月22日 決算日
基準価額 (円)	11,406	14,263	14,281	16,317	20,989	19,634
期間分配金合計(税込み) (円)	_	480	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率(%)	_	29.8	3.5	18.0	32.0	△ 4.2
純資産総額(百万円)	3,483	3,567	3,385	4,467	5,951	4,860

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(2024年11月23日~2025年5月22日)

<日本の株式市場>

当作成期における日本の株式市場の株価は上昇しました。

(当作成期首~2025年3月下旬)

- (上 昇) 米国の利下げペースが緩やかになるとの見方が広まったことや、日銀が追加利上げに関して 慎重な姿勢を示したことなどを背景に、日米金利差縮小への過度な警戒感が後退し、為替市 場で円安・米ドル高が進行したこと。
- (下 落) 米国の中国に対する半導体輸出規制強化の報道や米長期金利の上昇などが嫌気されたこと。
- (上 昇) 国内大手テクノロジー企業などによる AI への大規模投資計画の発表や米長期金利の上昇に歯 止めがかかったこと。
- (下 落) 中国の低コストAIの台頭を受けて先端半導体の先行き需要に対する懸念が強まったこと。
- (下 落) トランプ米大統領の追加関税に関する発言や報道などを受けて、米国の関税政策が世界景気 に与える影響が懸念されたこと。
- (下 落) 日銀の追加利上げへの警戒感が強まったことや、為替市場で円高・米ドル安が進行したこと。
- (上 昇) トランプ米大統領が発動予定の相互関税について、一部の国に対して適用除外や軽減措置を 講じる可能性を示唆したこと。
- (下 落) トランプ米政権が輸入車への追加関税を表明したことなどを受けて、米国の通商政策による 世界景気への悪影響が懸念されたこと。

(2025年4月上旬)

(下 落) 米国の相互関税の詳細発表や中国の報復関税の発表などを受けて、貿易摩擦激化などによる 世界景気への悪影響が懸念されたこと。

(2024年4月中旬~当作成期末)

- (上 昇)米国が日本など一部の国・地域に相互関税上乗せ部分の一時停止を発表したことや、日米関税交渉の進展が期待されたこと。
- (上 昇)米国と中国との貿易協議が進むなか、米中貿易摩擦の緩和が期待されたこと。

[野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型]

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス] 受益証券への投資比率は、概ね高位を維持しました。

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス]

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンド] の当作成期末現在のポートフォリオ特性値は、下図のようになりました。

ポートフォリオ特性	生値
組入比率	92.5%
カバー率	36.0%
平均行使価格	123.4%
平均行使期間	38.6⊟
配当利回り(年率)	3.5%
プレミアム (年率)	0.3%

- ・ポートフォリオ特性値(カバー率、平均行使価格等)は、ファンドの組入株式の各特性値を、その組入比率で加重平均したものです。
- カバー率:純資産に対するオプションのポジション
- ・平均行使価格:原資産価格(株価)に対する平均権利行使価格
- ・平均行使期間:権利行使日までの平均日数
- ・配当利回り:組入銘柄の今期または前期の配当予想 (課税前) を、加重平均して算出。 (東洋経済新報社データ等を基に野村アセットマネジメントが作成)
- ・プレミアム (年率):純資産に対する年率調整後のプレミアム収入
- ・プレミアム (年率) については、組み入れたオプションの諸条件により、年率調整後のプレミアム収入が大きく変動する場合があります。

主要投資対象である [ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンド] のポートフォリオにおける業種別比率上位は、当作成期末現在で、銀行10.7%、電気機器10.1%、卸売業9.7%となりました。

*業種は東証33業種分類によります。

また、高配当株への投資に加えて、「株式プレミアム戦略」に則り、現物株の購入とともにコール・オプションの売却を行ない、プレミアム収入の確保を図りました。

[野村マネーマザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と 流動性の確保を図りました。

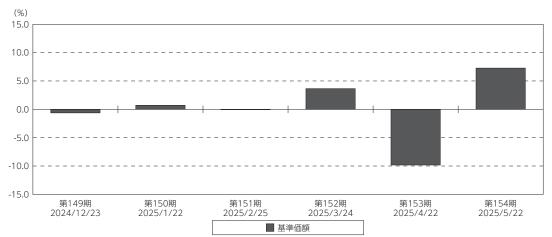
当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年11月23日~2025年5月22日)

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す 適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2024年11月23日~2025年5月22日)

収益分配については、各期の分配原資の範囲内で委託会社が決定するものとし、配当等の収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

		第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
項 目		2024年11月23日~	2024年12月24日~	2025年1月23日~	2025年2月26日~	2025年3月25日~	2025年4月23日~
		2024年12月23日	2025年1月22日	2025年2月25日	2025年3月24日	2025年4月22日	2025年5月22日
当期分配金		40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率	≅)	0.203%	0.202%	0.203%	0.196%	0.218%	0.203%
当期の収益		40	40	40	40	40	40
当期の収益以	外	_	_	_	_	_	_
翌期繰越分配対	象額	14,553	14,579	14,595	14,629	14,647	14,671

⁽注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

⁽注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[野村日本高配当株プレミアム(円コース)毎月分配型]

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス] 受益証券への投資比率を高位に維持することを目指します。

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス]

ファンドは、日本の高配当株へ投資することで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。高配当株からのインカムゲインに加えて、プレミアム収入の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」を活用し、先行き不透明な市場環境であっても、株式プレミアムの安定的な収益化に努めて参ります。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等の短期有価証券やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と 流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。 <変更適用日:2025年4月1日>

当ファンドの概要

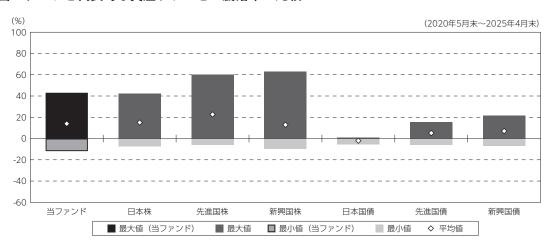
商	品	分	類	追加型投信/国内/株式				
信	託	期	間	2012年6月19日から2027年5月24日までです。				
運	用	方	針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーマザーファンド受益証券を通じて、日本の高配当利回り株式(以下、「高配当株」といいます。)を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。 各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。				
				野 村 日 本 高 配 当 株				
主	主要投	資文	対象	ノムラ・マネージド・マスター・トラスト - ジャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンド - 日本 円 クラス を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す「株式プレミアムッンド - 日本 円 クラス				
				野村マネー マザーファンド 本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。				
運	用	方	法	ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の高配当株に実質的に投資を行ない、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。				
分	配	方	針	毎決算時に、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。				

[※]店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	43.1	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 11.9	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均值	13.9	15.1	22.7	12.9	△ 2.0	5.2	7.0

- (注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- (注) 決算日に対応した数値とは異なります。
- (注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株: MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債:FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債:JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

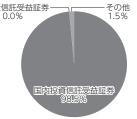
組入資産の内容

(2025年5月22日現在)

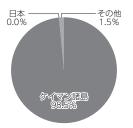
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第154期末
	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス	98.5
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

資産別配分 親投資信託受益証券——



○国別配分



○通貨別配分



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
- (注) 国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
- (注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

純資産等

項		第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末
- 現 -	Ħ	2024年12月23日	2025年1月22日	2025年2月25日	2025年3月24日	2025年4月22日	2025年5月22日
純資産総額		5,232,627,140円	5,182,919,235円	5,066,754,099円	5,131,397,148円	4,611,193,405円	4,860,012,746円
受益権総口	数	2,661,863,191	2,623,155,541	2,571,206,641	2,517,380,023	2,514,133,156	2,475,322,067
1万口当たり	基準価額	19,658円	19,758円	19,706円	20,384円	18,341円	19,634円

⁽注) 当作成期間中(第149期~第154期)における追加設定元本額は31,284,184円、同解約元本額は269,286,896円です。

組入上位ファンドの概要

ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンドー日本円クラス

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。 運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【純資産価格の推移】

(円) (2023年4月1日~2024年3月31日) 38,000 36,000 34,000 32,000 30,000 28,000 24,000 24,000 22,000

【1万口当たりの費用明細】

(2023年4月1日~2024年3月31日) 当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

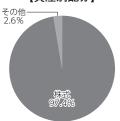
2023/4 2023/6 2023/8 2023/10 2023/12 2024/2 (注) 分配金を分配時に再投資したものとして計算しております。

【組入上位10銘柄】

(2024年3月31日現在)

	銘 柄 名	業種/種別等	通 貨	国(地域)	比率			
					%			
1	本田技研工業	輸送用機器	円	日本	3.0			
2	東京海上ホールディングス	保険業	円	日本	3.0			
3	オリックス	その他金融業	円	日本	2.9			
4	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	2.8			
5	三井物産	卸売業	円	日本	2.6			
6	日本電信電話	情報·通信業	円	日本	2.5			
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.5			
8	大和ハウス工業	建設業	円	日本	2.4			
9	デンソー	輸送用機器	円	日本	2.4			
10	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	2.1			
	組入銘柄数		126銘柄					

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は [ノムラ・マネージド・マスター・トラストージャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンド] の各クラスに帰属する資産のうち、 共通する部分の総和に対する割合です。
- (注) 国(地域) および国別配分は、原則として発行国(地域) もしくは投資国(地域) を表示しております。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】

(2023年8月22日~2024年8月19日)

該当事項はございません。



【組入上位10銘柄】

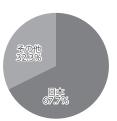
(2024年8月19日現在)

	銘 柄 名	業種/種別等	通 貨	国(地域)	比率
					%
1	国債バスケット(変動利付・利付・国庫短期証券)	国債(現先)	円	日本	61.5
2	日本高速道路保有·債務返済機構債券 政府保証債第229回	特殊債	円	日本	2.3
3	相模原市 公募平成26年度第1回	地方債	円	日本	2.3
4	日本高速道路保有·債務返済機構債券 政府保証債第225回	特殊債	円	日本	1.5
5	_	_	_	_	_
6	_	_	_	_	_
7	_	_	_	_	_
8	_	_	_	_	_
9	_	_	_	_	_
10	_	_	_	_	_
	組入銘柄数		4 銘柄		

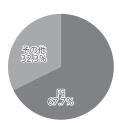
【資産別配分】

国内債券 67.7%

【国別配分】



【通貨別配分】



- (注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
- (注) 国(地域) および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

く代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

配当込み TOPIX(「東証株価指数(TOPIX)(配当込み)」といいます。)の指数値及び東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章又は商標は、株式会社 JPX総研又は株式会社 JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に係る標章又は商標に関するすべての権利は JPXが有します。 JPXは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても JPXは責任を負いません。

○MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○ JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース) 「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)」(こ こでは「指数」とよびます)についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報として のみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの 商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありま せん。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM)がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去 のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従 業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行なったり、またはマーケットメークを行なったりすること があり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。 米国のJ.P. Morgan Securities LLC(ここでは「JPMSLLC」と呼びます)(「指数スポンサー」)は、指数に関する証券、金融商品ま たは取引(ここでは「プロダクト」と呼びます)についての援助、保障または販売促進を行ないません。証券或いは金融商品全般、 或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨 の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサー はプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると 考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。 指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。 JPMSLLCはNASD, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC.、

またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。 (出所:株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)